

令和5年

# 火災統計



千葉市消防局

# 目 次

	ページ
<b>1 火災発生状況</b>	
(1) 火災の前年比較 .....	1
(2) 1日当りの火災状況 .....	2
(3) 火災1件当りの状況 .....	2
(4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況 .....	2
(5) 出火率 .....	3
(6) 初期消火の実施状況 .....	3
(7) 主な火災 .....	4
<b>2 出火件数</b>	
(1) 火災種別ごとの状況 .....	5
(2) 四季別の状況 .....	5
(3) 出火件数と気温・湿度 .....	6
(4) 覚知方法別火災状況 .....	6
(5) 区・町・丁目別火災発生状況 .....	7
(6) 月別・日別火災発生状況 .....	8
(7) 曜日別・時間別火災発生状況 .....	9
<b>3 損害額</b>	
(1) 過去10年間の損害額の推移 .....	10
(2) 火災種別ごとの損害額 .....	10
<b>4 火災による死傷者</b>	
(1) 過去10年間の死傷者発生状況 .....	11
(2) 火災種別ごとの死傷者発生状況 .....	11
(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況 .....	12
(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況 .....	12・13
(5) 死亡原因 .....	13
(6) 死亡に至った経過と年齢別の状況 .....	14
(7) 1件で2人以上の死者が発生した火災 .....	14
(8) 死者の発生した火災 .....	15
<b>5 出火原因</b>	
(1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額 .....	16
(2) 出火原因ワースト5の状況 .....	16・17

## 6 火災種別ごと

(1) 建物火災	18~25
ア 発生状況	18
イ 月別発生状況	18
ウ 建物用途別損害状況	19
エ 建物構造別損害状況	19
オ 損害額と焼損床面積の状況	20
カ 出火原因及び発火源・経過	20
キ 出火箇所の状況	21
ク 住宅火災	
(ア) 発生状況	22
(イ) 損害額の状況	22
(ウ) 出火原因及び発火源・経過	23
(エ) 死者発生状況	24
(オ) 負傷者発生状況	25
(2) 林野火災	26
ア 発生状況	26
イ 出火原因及び発火源・経過	26
ウ 出火箇所の状況	26
(3) 車両火災	27・28
ア 発生状況	27
イ 出火原因及び発火源・経過	27
ウ 出火箇所の状況	28
(4) 船舶火災	28
(5) その他の火災	29・30
ア 発生状況	29
イ 出火原因及び発火源・経過	29
ウ 出火箇所の状況	30

## 7 その他

(1) 署所別火災発生状況	31
(2) 原因別火災発生状況	32
(3) 原因別・時間別及び覚知別火災発生状況	33
(4) 火災の推移状況	34

※ 本編内の割合・比率については、四捨五入による端数処理の関係上、表中の計算が合わない場合があります。

# 1 火災発生状況

## (1) 火災の前年比較

令和5年中における火災は262件で、前年に比べると第1-1表のとおりで12件(4.8%)増加している。

第1-1表 火災の前年比較

▲印……減

区分	単位	令和5年 (A)	令和4年 (B)	増減 (A)-(B)=(C)	増減率 $\frac{(C)}{(B)} \times 100$ (%)
出火件数	件	262	250	12	4.8
建物		145	162	▲ 17	▲ 10.5
林野		2	1	1	100.0
車両		32	12	20	166.7
船舶		0	0	0	--
航空機		0	0	0	--
その他		83	75	8	10.7
焼損棟数	棟	190	222	▲ 32	▲ 14.4
全焼		35	36	▲ 1	▲ 2.8
半焼		4	4	0	0.0
部分焼		56	64	▲ 8	▲ 12.5
ぼや		95	118	▲ 23	▲ 19.5
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	3,116	3,832	▲ 716	▲ 18.7
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	546	1,092	▲ 546	▲ 50.0
林野焼損面積	a	24	0	24	--
死者	人	8	7	1	14.3
負傷者	人	43	45	▲ 2	▲ 4.4
り災世帯	世帯	106	155	▲ 49	▲ 31.6
全損		22	36	▲ 14	▲ 38.9
半損		10	10	0	0.0
小損		74	109	▲ 35	▲ 32.1
り災人員	人	228	303	▲ 75	▲ 24.8
損害額	千円	437,350	429,179	8,171	1.9
建物		333,715	388,117	▲ 54,402	▲ 14.0
林野		0	0	0	--
車両		84,417	3,333	81,084	2,432.8
船舶		0	0	0	--
航空機		0	0	0	--
その他		18,154	37,729	▲ 19,575	▲ 51.9
爆発		1,064	0	1,064	--
出火率		2.7	2.6	0.1	4.8

※ 損害額の内訳欄（爆発を除く）は物件ごとの損害額である。なお、火災種別ごとの損害額は10頁に掲載している第3-2表のとおりである。

※ 出火率とは人口1万人当りの出火件数である。なお、人口は令和5年4月1日現在の推計人口を使用している。（以下、本火災統計における人口は同様とする。）

## (2) 1日当りの火災状況

火災の状況を1日当りでみると第1-2表のとおりで、出火件数は0.7件、損害額は1,198千円であり、建物焼損床面積は8.5㎡となっている。

第1-2表 1日当りの火災状況

区 分	単 位	令和5年	令和4年
出 火 件 数	件	0.7	0.7
損 害 額	千円	1,198	1,176
建 物 焼 損 棟 数	棟	0.5	0.6
建 物 焼 損 床 面 積	㎡	8.5	10.5
建 物 焼 損 表 面 積	㎡	1.5	3.0
林 野 焼 損 面 積	a	0.1	0.0
り 災 世 帯 数	世帯	0.3	0.4
り 災 人 員	人	0.6	0.8
死 者	人	0.02	0.02
負 傷 者	人	0.1	0.1

## (3) 火災1件当りの状況

火災1件当りの状況は第1-3表のとおりで、前年と比較すると、損害額、焼損床面積、焼損棟数、り災世帯、り災人員は減少しているが、人的被害は同数となっている。

第1-3表 火災1件当りの状況

区 分	単 位	令和5年	令和4年
1 件 当 り の 損 害 額	千円	1,669	1,717
1 件 当 り の 建 物 焼 損 床 面 積	㎡	11.9	15.3
1 件 当 り の 建 物 焼 損 棟 数	棟	0.7	0.9
1 件 当 り の 人 的 被 害	人	0.2	0.2
1 件 当 り の り 災 世 帯	世帯	0.4	0.6
1 件 当 り の り 災 人 員	人	0.9	1.2

## (4) 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

市民1世帯当り及び市民1人当りに換算した損害額・焼損床面積の状況は第1-4表のとおりで、前年と比較すると損害額は増加しているが、焼損床面積は減少している。※世帯数は令和5年4月1日現在の推計世帯数を使用している。

第1-4表 人口と世帯に対する損害額・焼損床面積の状況

区 分	単 位	令和5年	令和4年
市 民 1 世 帯 当 り の 損 害 額	円	946	941
市 民 1 世 帯 当 り の 焼 損 床 面 積	㎡	0.007	0.008
市 民 1 人 当 り の 損 害 額	円	447	439
市 民 1 人 当 り の 焼 損 床 面 積	㎡	0.003	0.004

## (5) 出火率

出火率（人口1万人当りの出火件数）は2.67で、10年前（平成25年）に比べると第1-5表のとおりで20.6%減少している。

第1-5表 出火率等の比較

▲印・・・減

区 分	実 数		増 減 率 (%)
	令和5年	平成25年	
出 火 率	2.7	3.4	▲ 20.6
出 火 件 数	262	330	▲ 20.6
建 物 火 災 件 数	145	174	▲ 16.7
人 口	978,064	962,424	1.6
世 帯 数	462,444	413,353	11.9

## (6) 初期消火の実施状況

初期消火の実施状況は第1-6表のとおりで、全火災のうち156件（59.5%）で何らかの方法により初期消火が行われている。また、実施したうちで効果があった割合は、68.6%となっている。

第1-6表 初期消火の実施状況

	簡易消火用具	消火器	消火設備	その他	実施件数合計	未実施件数	全火災件数
実施件数	2 ( 0.8% )	62 ( 23.7% )	1 ( 0.4% )	91 ( 34.7% )	156 ( 59.5% )	106 ( 40.5% )	262 ( 100.0% )
奏功件数	1 ( 50.0% )	43 ( 69.4% )	1 ( 100.0% )	62 ( 68.1% )	107 ( 68.6% )	/	

注 1 実施件数欄の（ ）内は、全火災件数との割合である。

2 奏功件数欄の（ ）内は、実施件数との割合である。

## (7) 主な火災

主な火災は、第1-7表のとおりである。

第1-7表 主な火災

No.	出火日時	出火場所	用途	焼損棟数	損害額(千円)	焼損床面積(m <sup>2</sup> )
1	1月8日 19時10分頃	若葉区中田町	倉庫	1	45,932	194
2	1月14日 17時24分頃	中央区都町	共同住宅	1	34,072	30
3	1月18日 13時10分頃	緑区平山町	その他	1	9,335	208
4	2月26日 16時35分頃	若葉区中田町	倉庫	5	2,300	210
5	4月27日 18時30分頃	花見川区長作台2丁目	住宅	4	28,253	147
6	5月6日 10時08分頃	中央区亥鼻3丁目	共同住宅	1	27,613	104
7	6月10日 4時00分頃	稲毛区園生町	非特定複合用途	1	73,745	104
8	7月9日 20時50分頃	花見川区幕張町2丁目	乗用車	—	69,449	—
9	11月11日 18時55分頃	若葉区野呂町	工場	12	6,240	322
10	11月25日 17時08分頃	中央区塩田町	住宅	1	3,580	253

(注) 発生した火災のうち、焼損床面積200m<sup>2</sup>以上、損害額2,000万円以上のいずれかに該当するもの。

## 2 出火件数

### (1) 火災種別ごとの状況

火災種別ごとの出火件数構成比は第2-1表のとおりで、建物火災が最も多く、145件（55.3%）となっており、以下、その他の火災が83件（31.7%）、車両火災が32件（12.2%）と続いている。

第2-1表 火災種別ごとの状況

区分	令和5年		令和4年	
建物火災	145	(55.3%)	162	(64.8%)
林野火災	2	(0.8%)	1	(0.4%)
車両火災	32	(12.2%)	12	(4.8%)
船舶火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
航空機火災	0	(0.0%)	0	(0.0%)
その他の火災	83	(31.7%)	75	(30.0%)
計	262	(100.0%)	250	(100.0%)

### (2) 四季別の状況

出火件数を四季別にみると第2-2表のとおりで、冬が最も多く87件（33.2%）となっており、以下、春が74件（28.2%）で続き、夏が61件（23.3%）、秋が最も少なく40件（15.3%）となっている。

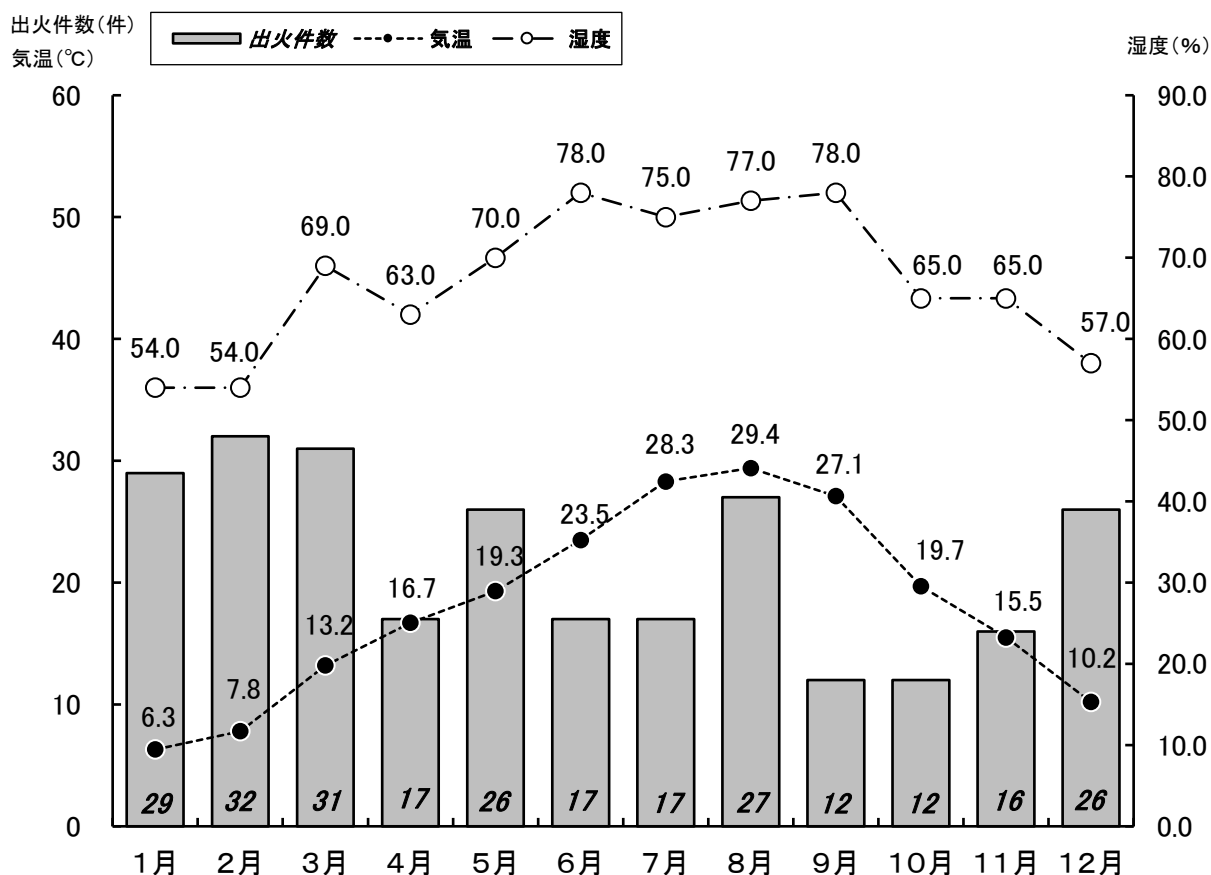
第2-2表 四季別出火件数

年 別 季 別	令和5年				令和4年			
	件数	割合	損害額（千円）	割合	件数	割合	損害額（千円）	割合
春 （3月～5月）	74	28.2	90,565	20.7	54	21.6	65,499	15.3
夏 （6月～8月）	61	23.3	153,648	35.1	61	24.4	29,707	6.9
秋 （9月～11月）	40	15.3	56,498	12.9	50	20.0	20,639	4.8
冬 （1、2、12月）	87	33.2	136,639	31.2	85	34.0	313,334	73.0
計	262	100.0	437,350	100.0	250	100.0	429,179	100.0

### (3) 出火件数と気温・湿度

出火件数と気温及び湿度の関連性は第2-1図のとおりで、1月から3月の出火件数が多く、比較的、気温の低い月や湿度の低い月に火災が多く発生している。

第2-1図 出火件数と気温及び湿度の関連性



### (4) 覚知方法別火災状況

消防機関がどのような方法により火災を覚知しているかは第2-3表のとおりで、火災報知専用電話(119)による通報が大部分を占め、162件(61.8%)となっている。(事後聞知を除く)

第2-3表 覚知方法別火災状況

覚知方法	出火件数	
	件数	割合(%)
火災報知専用電話(IP電話)	25	9.5
火災報知専用電話(NTT加入電話)	23	8.8
火災報知専用電話(携帯電話)	162	61.8
加入電話(固定電話)	3	1.1
加入電話(携帯電話)	3	1.1
警察電話	16	6.1
駆け付け	2	1
事後聞知	26	9.9
その他	2	0.8
計	262	100.0

(5) 区・町・丁目別火災発生状況

区・町・丁目別火災発生件数は第2-4表のとおりで、中央区川崎町が最多で11件(4.2%)となっている。

第2-4表 区・町・丁目別火災発生状況

中央区	赤井町	亥鼻3丁目	今井1丁目	今井町	鶉の森町	大森町	生実町	春日2丁目	葛城1丁目	要町	川崎町	栄町	塩田町	新宿2丁目	新千葉1丁目	末広2丁目	大巖寺町	千葉寺町	千葉港	中央1丁目	中央3丁目	中央港1丁目
72	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	11	3	2	3	1	1	2	2	1	2	2	1
中央港2丁目	椿森5丁目	出洲港	道場北2丁目	新浜町	浜野町	富士見1丁目	富士見2丁目	弁天1丁目	本千葉町	松波1丁目	松波4丁目	南生実町	南町2丁目	都町	都町1丁目	都町3丁目	都町6丁目	宮崎町	村田町	祐光2丁目	花見川区	内山町
1	1	1	1	3	1	1	5	1	1	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1	1	42	1
こてはし台1丁目	こてはし台3丁目	犢橋町	作新台5丁目	作新台7丁目	さつきが丘1丁目	三角町	大日町	武石町1丁目	千種町	長作町	畑町	花園2丁目	花園3丁目	花見川	幕張町2丁目	幕張町3丁目	幕張町4丁目	幕張本郷1丁目	幕張本郷2丁目	横戸町	西小中台	瑞穂1丁目
1	1	2	1	1	1	2	1	1	3	3	1	1	1	2	3	2	2	2	1	1	1	1
朝日ヶ丘3丁目	長作台2丁目	柏井1丁目	み春野1丁目	稲毛区	穴川3丁目	稲毛町5丁目	稲毛東3丁目	稲毛東4丁目	黒砂1丁目	黒砂2丁目	小仲台2丁目	小仲台3丁目	山王町	園生町	轟町1丁目	轟町4丁目	長沼町	長沼原町	宮野木町	弥生町	六方町	若葉区
2	1	1	2	30	2	1	2	1	2	1	1	1	1	4	1	1	2	3	3	1	3	60
和泉町	大宮台6丁目	大宮町	小倉町	小間子町	貝塚町	加曾利町	北谷津町	更科町	高品町	高根町	多部田町	且谷町	千城台北2丁目	千城台西1丁目	千城台西3丁目	千城台南2丁目	都賀2丁目	都賀5丁目	殿台町	富田町	中田町	中野町
1	1	1	5	1	2	4	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1	1	1	2	4	1
西都賀5丁目	野呂町	東寺山町	みつわ台3丁目	みつわ台4丁目	谷当町	若松町	桜木3丁目	桜木北1丁目	緑区	大木戸町	大椎町	越智町	刈田子町	椎名崎町	下和田町	高田町	土気町	中西町	平山町	おゆみ野1丁目	おゆみ野2丁目	おゆみ野3丁目
1	4	6	1	1	4	4	1	1	24	1	1	1	1	2	2	2	1	1	3	1	1	1
おゆみ野6丁目	おゆみ野中央1丁目	おゆみ野中央4丁目	おゆみ野南5丁目	おゆみ野南6丁目	美浜区	磯辺2丁目	磯辺3丁目	磯辺8丁目	打瀬2丁目	打瀬3丁目	幸町2丁目	新港	高洲2丁目	高洲3丁目	高浜3丁目	豊砂	中瀬1丁目	中瀬2丁目	ひび野1丁目	ひび野2丁目	幕張西3丁目	真砂1丁目
1	1	1	2	1	34	1	1	2	1	1	4	2	2	3	1	1	3	1	1	2	1	
真砂2丁目	真砂5丁目	美浜																				総計
1	1	4																				262

(6) 月別・日別火災発生状況

月別・日別火災発生件数は、第2-5表のとおりである。

月別で見ると2月が最多で32件（12.2%）で、次いで3月が31件（11.8%）となっている。

また、日別で見ると1日が最多で、16件（6.1%）となっており、上旬（1日～10日）に99件、中旬（11日～20日）に81件、下旬（21日～31日）に79件発生している。

第2-5表 月別・日別火災発生状況

計 日	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	262	29	32	31	17	26	17	17	27	12	12	16	26
1	16	2	2	4		2	1		3		1	1	
2	8	2	1	2	1				1			1	
3	11	1	3	3	1				1	2			
4	7			1	1	4							1
5	8	1	2		1		1		1				2
6	12	5	2			1	1		1	1	1		
7	8	1		1	1		1		1		2	1	
8	7	1					2		2	1			1
9	10	1	3	1		1		2			1	1	
10	12	2		1	1	1	2		3	1		1	
11	9	2	2	2		1					1	1	
12	8	1	1		1		1		1	1		1	1
13	11	2	1			1		1		1	2		3
14	13	2	1	3		1	1		1	1	1	2	
15	13	1	2	3		2	1			1			3
16	4		3									1	
17	3			1				1		1			
18	11	3	1	2	1			1	1			1	1
19	3							1	1				1
20	6			1					3			1	1
21	5							1	1		1		2
22	6				1	3		1					1
23	7		1	1		1		1			1		2
24	10		1		2		1			1	1	2	2
25	8		1		1	2			1			1	2
26	8	1	3		1			1		1			1
27	8		1	1	1	2	1					1	1
28	11		1	1	1	2	3	2	1				
29	6			1	2			1	1				1
30	6	1				1	1	2	1				
31	4			1				1	2				
不明	3			1		1		1					

(7) 曜日別・時間別火災発生状況

曜日別・時間別火災発生状況は第2-6表のとおりで、曜日別で見ると木曜日が最多で40件（15.3%）、時間別で見ると14時が最多で24件（9.2%）となっている。

第2-6表 曜日別・時間別火災発生状況

時間	曜日								
	計	日	月	火	水	木	金	土	不明
	262	32	37	36	39	40	39	36	3
0 ~	4					2	2		
1 ~	6		2	1			2	1	
2 ~	9		2	2	1	3		1	
3 ~	4	1			2		1		
4 ~	3			2				1	
5 ~	6		2		1	2		1	
6 ~	8			1	2	1	2	2	
7 ~	3			1	1	1			
8 ~	14	2	2	1	1	4	2	2	
9 ~	17	1	1	1	2	6	4	2	
10 ~	19	3	2	3	5		4	2	
11 ~	16	1	3	1	6	2	1	2	
12 ~	16	2	2	2	1	2	4	3	
13 ~	17	4	1	4	2	4	1	1	
14 ~	24	5	4	3	4	4	3	1	
15 ~	10	1	4	2		1	1	1	
16 ~	17	2	1	1	4		5	4	
17 ~	8	2		1			1	4	
18 ~	11	2	1	3	2	1	1	1	
19 ~	12	4	2	1	1	2	2		
20 ~	13	2	3	2	1	1		4	
21 ~	9		1	2	2	3		1	
22 ~	4		1	2				1	
23 ~	7		1		1	1	3	1	
不明	5		2						3

### 3 損害額

#### (1) 過去10年間の損害額の推移

損害額は、前年に比べると8,171千円増加しており、過去10年間の火災による損害額の推移は第3-1表のとおりで、平均は354,846千円である。

第3-1表 過去10年間の火災による損害額の推移

年別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
出火件数	300	279	265	263	261
同上指数	100	93	88	88	87
損害額（千円）	381,765	349,203	225,781	339,945	363,240
同上指数	100	91	59	89	95
1件当りの損害額（千円）	1,273	1,252	852	1,293	1,392
同上指数	100	98	67	102	109
年別	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出火件数	258	204	225	250	262
同上指数	86	68	75	83	87
損害額（千円）	363,247	282,114	376,634	429,179	437,350
同上指数	95	74	99	112	115
1件当りの損害額（千円）	1,408	1,383	1,674	1,717	1,669
同上指数	111	109	132	135	131

※ 各指数は、平成26年の数値を100とした場合の比較値である。

#### (2) 火災種別ごとの損害額

損害額を火災種別ごとに見ると第3-2表のとおりで、建物火災による損害額が77.0%と大部分を占めており、1件当りの損害額は2,323千円である。

第3-2表 火災種別々損害額

火災種別	損害額(千円)	割合(%)	1件当りの損害額(千円)
建物火災	336,793	77.0	2,323
林野火災	0	0.00	--
車両火災	84,730	19.4	2,648
船舶火災	0	0.0	--
航空機火災	0	0.0	--
その他の火災	15,827	3.6	191
計	437,350	100.0	1,669

## 4 火災による死傷者

### (1) 過去10年間の死傷者発生状況

火災による死者は8人で前年と比較して1人増加しており、負傷者は43人で2人減少している。  
死傷者の過去10年間の推移をみると第4-1表のとおりで、火災件数と死傷者数に相関関係は特に認められない。

第4-1表 過去10年間の死傷者発生状況

区分	年別									
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
出火件数	300	279	265	263	261	258	204	225	250	262
死者	5	8	7	11	2	9	7	6	7	8
指数	100	160	140	220	40	180	140	120	140	160
負傷者	78	44	39	33	48	20	30	36	45	43
指数	100	56	50	42	62	26	38	46	58	55

※ 各指数は、平成26年の数値を100とした場合の比較値である。

### (2) 火災種別ごとの死傷者発生状況

火災種別ごとの死傷者発生状況は第4-2表のとおりで、死者は建物火災のみで発生している。

第4-2表 火災種別ごとの死傷者発生状況

区 分	出火件数	死者(人)	割合(%)	負傷者(人)	割合(%)
建物火災	145	8	100.0	36	83.7
林野火災	2	0	0.0	0	0.0
車両火災	32	0	0.0	3	7.0
船舶火災	0	0	0.0	0	0.0
航空機火災	0	0	0.0	0	0.0
その他の火災	83	0	0.0	4	9.3
計	262	8	100.0	43	100.0

(3) 過去5年間の町・丁目別死者発生状況

過去5年間の町・丁目別死者発生状況は第4-3表のとおりで、中央区が最も多く14人（37.8%）次いで若葉区が9人（24.3%）となっている。

年別	町・丁目	中央区											花見川区				稲毛区			若葉区						緑区			美浜区									
		計	要田町	塩田町	弁天二丁目	都町三丁目	矢作町	祐光一丁目	祐光三丁目	稲荷三丁目	大巖寺町	都町一丁目	生実町	浜野町	南生実町	千種町	柏井町	長作町	朝日ヶ丘三丁目	花見川	小深町	作草部町	作草部一丁目	長沼町	小倉台二丁目	千城台東三丁目	千城台西三丁目	北大宮台六丁目	みつわ台三丁目	みつわ台五丁目	高品町	東寺山町	おゆみ野一丁目	大椎町	あすみが丘三丁目	刈田子町	高洲二丁目	
計	37	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
令和元年	9			1	1	1			1			1				1									1				1	1								
2年	7	1						1	1																	1				1						1	1	
3年	6						1					1									1						1								1			
4年	7				1								1	1				1	1	1				1														
5年	8		1								1						1	1							1		1				1	1						

(4) 建物用途別及び構造別死者発生状況

建物用途別死者発生状況は第4-4表のとおりで、死者が発生しているのは専用住宅及び共同住宅である。  
建物構造別死者発生状況は第4-5表のとおりで、木造建物で6人死者が発生している。

第4-4表 建物用途別死者発生状況

区分	計	専用住宅	共同住宅	併用住宅						併用共同住宅				病院	店舗	物置	事務所	作業所	倉庫	その他
				店舗	浴場	映画館	事務所	作業所	住居	店舗	事務所	作業所	住居							
地階																				
地上 1	6	5	1																	
2	1	1																		
3	1		1																	
4																				
5階以上																				
階数不明																				
計	8	6	2																	

第4-5表 建物構造別死者発生状況

区 分	計	建 物 火 災					その他 屋 内
		木 造	防 火	準 耐 火		耐 火	
				木 造	非木造		
地階							
地上1階	6	5					1
2	1	1					
3	1					1	
4							
5階以上							
階数不明							
計	8	6				1	1

(5) 死亡原因

過去10年間の死亡原因を見ると第4-6表のとおりで、一酸化炭素中毒・窒息が31人で最も多く、44.3%を占めている。

第4-6表 死亡原因

区分 年別	計	一酸化炭素 中毒・窒息	火 傷	打 撲 ・ 骨 折 等	自 殺	そ の 他	不 明
26年	5	3			1		1
27年	8	4	3		1		
28年	7	5	1				1
29年	11	3			5		3
30年	2		1		1		
令和元年	9	5	1		2		1
2年	7	2	3		2		
3年	6	3	3				
4年	7	4	3				
5年	8	2	2	1	2		1
計	70	31	17	1	14		7

(6) 死亡に至った経過と年齢別の状況

死亡に至った経過と年齢別の状況は第4-7表のとおりで、高齢者（65歳以上）が50%を占めている。

第4-7表 死亡に至った経過と年齢別の状況

区分	計	就寝中										起床中							放火自殺者	放火殺人による死者	不明						
		熟睡	泥酔	病気・身体不自由のため	乳幼児のため	老衰	延焼拡大が早く	逃げ遅れ	出火後進入・再進入	着衣・着火	その他の	泥酔	病気・身体不自由のため	乳幼児のため	老衰	延焼拡大が早く	逃げ遅れ	出火後進入・再進入				着衣・着火	その他の				
0～5歳																											
6～10																											
11～20																											
21～30																											
31～40	1		1																								
41～50	1																										1
51～60	1																										1
61～70	2	1																									1
71～80	2																										
81～	1																										
不明																											
計	8	1	1																								1
割合(%)	100	25.0										37.5							25.0			12.5					
高齢者(65～)	4	1																									

(7) 1件で2人以上の死者が発生した火災

昭和30年以降、1件で2人以上の死者が発生した火災は第4-8表のとおりで、令和5年は発生していない。

第4-8表 1件で2人以上の死者が発生した火災

区分			性別		火災種別			健康状態				発生位置						職業				死因				
	件数	人員	男	女	建物	車両	その他	良	否	酩酊	不明	一階	二階	三階	四階	階数不明	車両	その他	会社員	主婦	学生	幼児	無職	焼死	C0中毒	不明
2人	18	36	21	15	16	1	1	26	5		5	25	2	5			2	2	18	2	3	4	9	23	12	1
3人	7	21	12	9	6	1		17		1	3	9		3	3	3	3		2	3	3	10	3	11	7	3
4人	2	8	4	4	2			8				7	1							1	1	4	2	3	5	
5人	1	5	1	4	1			5						5						2		3			5	
計	28	70	38	32	25	2	1	56	5	1	8	41	3	13	3	3	5	2	20	8	7	21	14	37	29	4

(8) 死者の発生した火災

火災による死者は8人で、前年と比較すると1人増加しており、高齢者（65歳以上）の死者は4人発生している。

なお、死者の発生した火災は第4-9表のとおりである。

第4-9表 死者の発生した火災

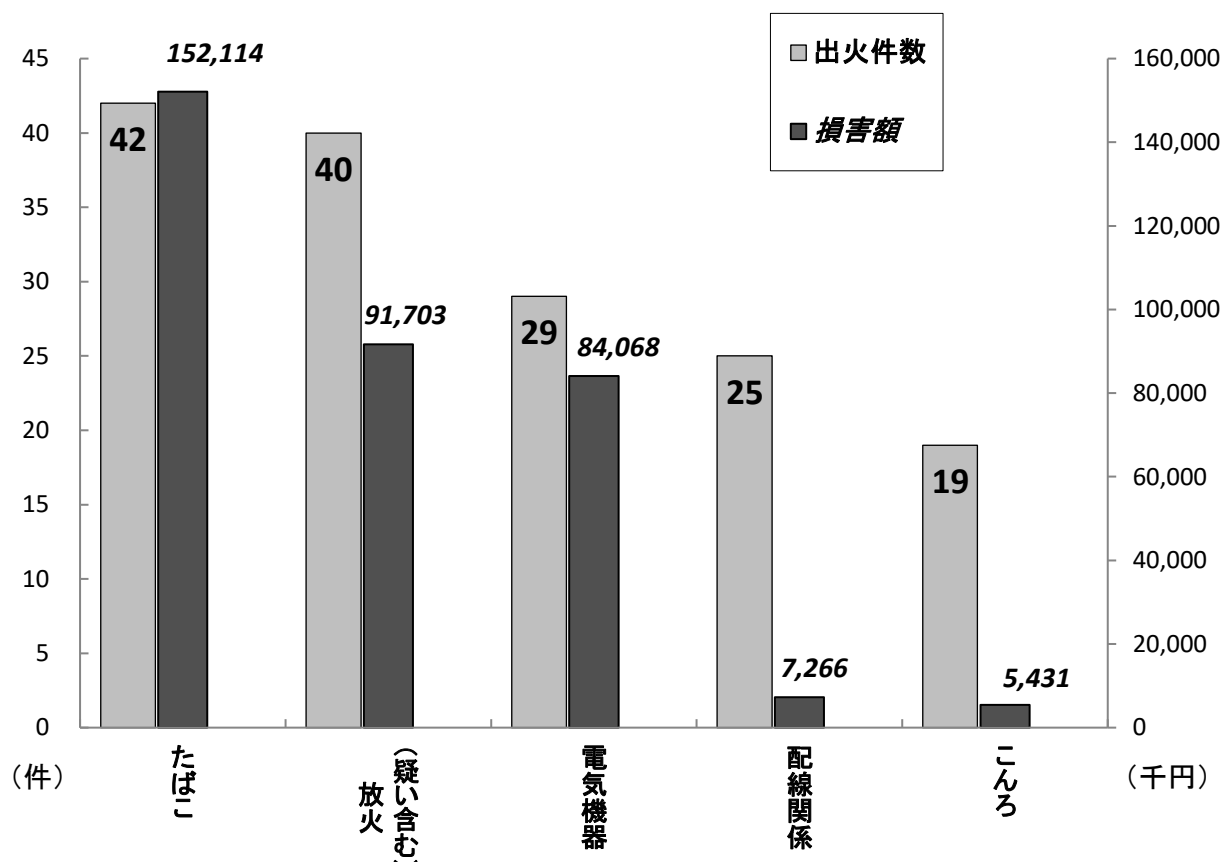
No.	出火場所	種別	用途	性別
1	若葉区	建物	専用住宅	男性
2	若葉区	建物	共同住宅	男性
3	緑区	建物	専用住宅	女性
4	花見川区	建物	専用住宅	男性
5	中央区	建物	共同住宅	男性
6	緑区	建物	専用住宅	女性
7	花見川区	建物	専用住宅	女性
8	中央区	建物	専用住宅	男性

## 5 出火原因

### (1) 主な出火原因別の出火件数及び損害額

主な出火原因別の件数及び損害額の状況は第5-1図のとおりで、出火件数はたばこが最も多く42件（16.0%）となっており、損害額はたばこが最も多く、152,114千円（34.8%）となっている。

第5-1図 出火原因別出火件数及び損害額



### (2) 出火原因ワースト5の状況

#### ア たばこの経過別出火件数

たばこの出火件数は42件であり、経過は「不適當なところに捨て置く」が31件（73.8%）、次いで「火源が転倒落下する」が7件となっている。

#### イ 放火（疑い含む）の発火源別出火件数

放火（疑い含む）の出火件数は40件であり、発火源は「不明」が29件（72.5%）、次いで「ライター」が4件となっている。

#### ウ 電気機器の経過別出火件数

電気機器の出火件数は29件であり、経過は「電線が短絡する」が11件（37.9%）、次いで「スパークする」が4件となっている。

#### エ 配線関係の経過別出火件数

配線関係の出火件数は25件であり、経過は「電線が短絡する」が8件（32.0%）、次いで「スパークする」、「金属の接触部が過熱する」及び「漏電（地絡）する」が各4件となっている。

#### オ こんろの経過別出火件数

こんろの出火件数は19件であり、経過は「放置する、忘れる」が4件（21.1%）、次いで「可燃物が動いて火源に触れる」及び「過熱する」が各3件となっている。

第5-1表 出火原因ワースト5の状況

区 分	単位	たばこ	放火（放火の疑い）	電気機器	配線関係	こんろ
件 数	件	42	40 ( 17 )	29	25	19
建 物	件	22	15	13	20	17
林 野						
車 両		2	1	11		1
船 舶						
航 空 機						
そ の 他		18	24	5	5	1
主な発火源 及び経過	件	不適當なところに捨て置く 31	不明 29 ( 14 )	電線が短絡する 11	電線が短絡する 8	放置する、忘れる 4
		火源が転倒落下する 7	ライター 4 ( 1 )	スパークする 4	・スパークする ・金属の接触部が過熱する ・漏電（地絡）する 4	・可燃物が動いて火源に触れる ・過熱する 3
		その他 4	その他 7 ( 2 )	その他 14	その他 5	その他 9
建物焼損 床面積	㎡	638	627	35	72	100
建物焼損 表面積		41	46	85	9	7
林 野 焼 損 面 積	a					
損 害 額	千円	152,114	91,703	84,068	7,266	5,431

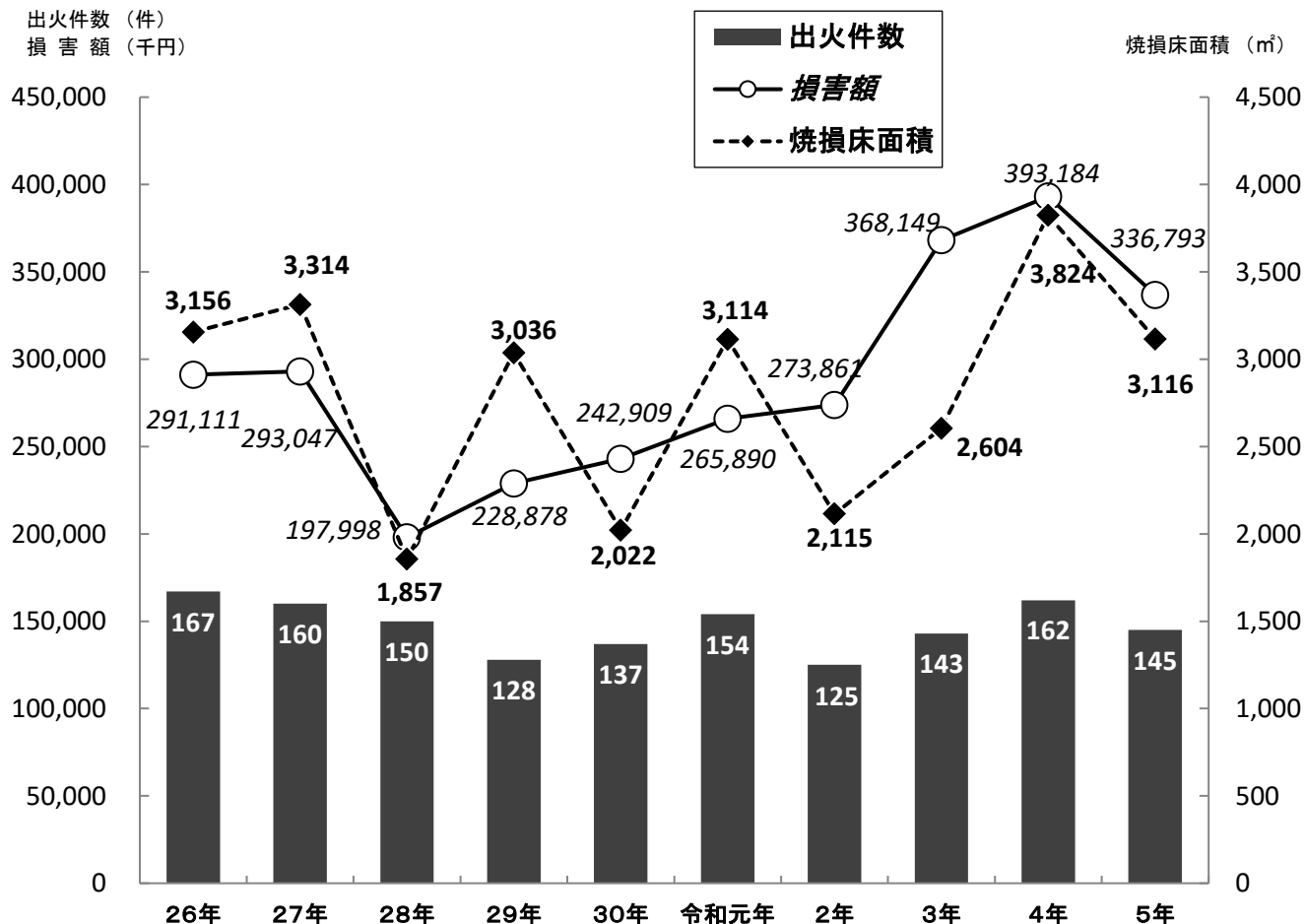
## 6 火災種別ごと

### (1) 建物火災

#### ア 発生状況

建物火災は145件で前年に比べると17件減少しており、損害額は336,793千円で56,391千円減少している。過去10年間の推移は第6-1図のとおりで、平均は出火件数147件、焼損床面積2,816㎡、損害額289,582千円である。

第6-1図 建物火災の推移（過去10年間）



#### イ 月別発生状況

月別発生状況は第6-1表のとおりで、2月が20件と最も多く、次いで3月、12月が17件となっている。また、年間の月平均出火件数は約12件である。

第6-1表 月別の建物火災発生状況

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
件数	16	20	17	8	13	12	9	15	6	4	8	17	145
%	11.0	13.8	11.7	5.5	9.0	8.3	6.2	10.3	4.1	2.8	5.5	11.7	100.0

### ウ 建物用途別損害状況

建物用途別損害状況は第6-2表のとおりで、専用住宅・共同住宅・併用住宅が77件で、全体の53.1%を占めている。

第6-2表 建物用途別損害状況

用途	出火件数		焼損床面積	焼損表面積	損害額
	令和4年	令和5年	令和5年 (㎡)	令和5年 (㎡)	令和5年 (千円)
専用住宅	31	38	1,259	26	103,777
共同住宅	52	39	482	51	74,500
併用住宅	2				
事務所	5	3			5
飲食店・物品販売店舗	10	2			1
作業所・工場	21	21	239	238	15,673
倉庫・物置・納屋	9	4	267		48,257
公衆浴場		1			
学校	2	2	1		6
病院（診療所）・福祉施設等		2		2	8
公会堂	1				
特定複合用途	24	25	92	8	10,970
非特定複合用途	3	8	344	3	83,596
その他	2				
合計	162	145	2,684	328	336,793

### エ 建物構造別損害状況

建物構造別損害状況は第6-3表のとおりで、木造建物からの出火件数が57件であり、建物火災全体の39.3%を占めている。

第6-3表 建物構造別損害状況

損害状況 構造	令和4年	令和5年						
	出火 件数	出火 件数	延焼 件数	延焼率 (%)	焼損 棟数	1件当り焼損面積 (㎡)		1件当り の損害額 (千円)
						床面積	表面積	
木造	54	57	9	15.8	87	30.8	4.6	2,519
防火構造	3	5	0	0.0	5	0.0	0.0	319
準耐（木造）	4	1	0	0.0	1	45.0	0.0	3,182
準耐（非木造）	20	18	1	5.6	29	25.8	5.0	2,461
耐火	69	52	1	1.9	52	7.0	3.3	1,662
その他	12	12	1	8.3	15	40.6	0.0	4,811
計	162	145	12	8.3	189	21.5	3.7	2,323

オ 損害額と焼損床面積の状況

建物火災の出火件数を損害額及び焼損床面積で見ると、第6-4表のとおりである。  
 損害額は、50千円未満の火災が75件で、全体の51.7%を占めている。また、焼損床面積の計上されない火災が92件で、全体の63.4%を占めている。

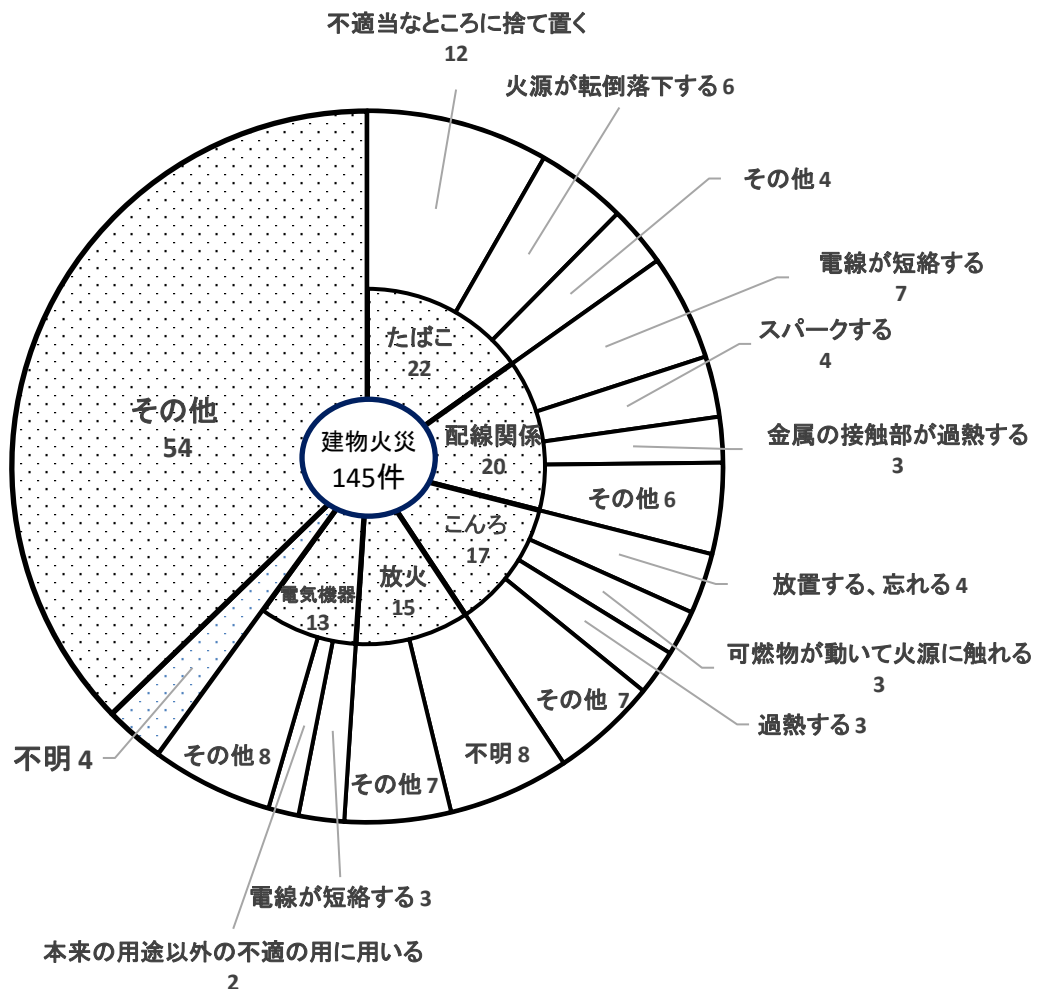
第6-4表 損害額と焼損床面積の状況

損害額	件数(割合%)	焼損床面積	件数(割合%)
0	29 ( 20.0 )	0	92 ( 63.4 )
50千円未満	46 ( 31.7 )	20㎡未満	22 ( 15.2 )
100千円未満	14 ( 9.7 )	40㎡未満	10 ( 6.9 )
500千円未満	15 ( 10.3 )	60㎡未満	3 ( 2.1 )
1,000千円未満	8 ( 5.5 )	80㎡未満	3 ( 2.1 )
2,000千円未満	9 ( 6.2 )	100㎡未満	2 ( 1.4 )
3,000千円未満	5 ( 3.4 )	150㎡未満	7 ( 4.8 )
4,000千円未満	6 ( 4.1 )	200㎡未満	2 ( 1.4 )
5,000千円未満	1 ( 0.7 )	250㎡未満	2 ( 1.4 )
5,000千円以上	12 ( 8.3 )	250㎡以上	2 ( 1.4 )
計	145 ( 100.0 )	計	145 ( 100.0 )

カ 出火原因及び発火源・経過

建物火災の出火原因及び主な経過・発火源は第6-2図のとおりで、たばこが22件で全体の15.2%を占めている。次いで配線関係が20件(13.8%)、こんろが17件(11.7%)、放火(疑い含む)が15件(10.3%)、電気機器が13件(9.0%)になっている。

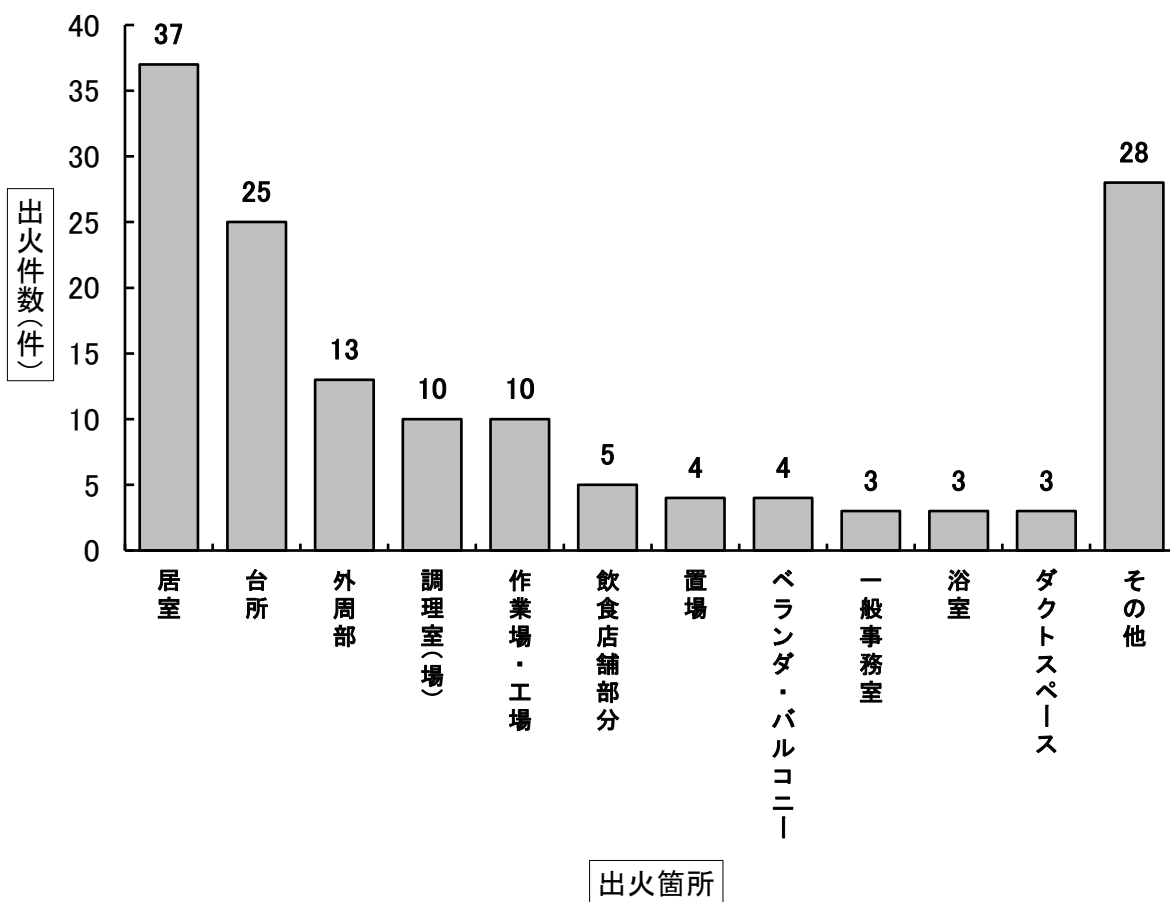
第6-2図 建物火災の出火原因及び発火源・経過



### キ 出火箇所の状況

建物火災の出火箇所は第6-3図のとおりで、居室が最も多く37件（25.5%）、次いで台所が25件（17.2%）、外周部が13件（9.0%）となっている。

第6-3図 建物火災の出火箇所の状況



## ク 住宅火災

### (7) 発生状況

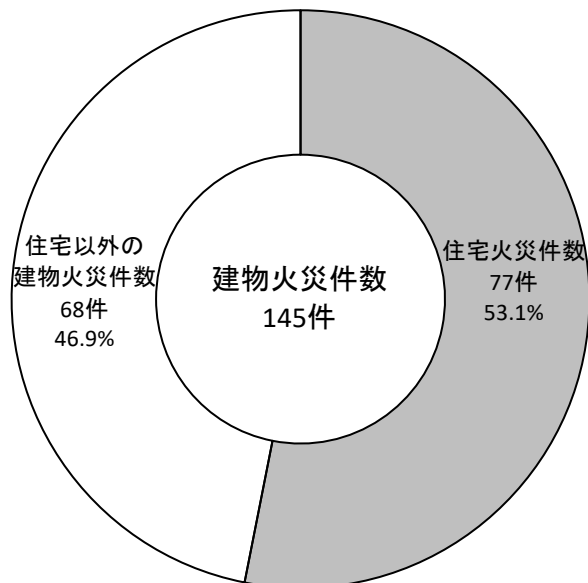
建物火災のうち、住宅火災（専用住宅・共同住宅・併用住宅の火災を指す。以下同様。）の発生件数は第6-5表のとおりで、過去3年間の平均は81.3件（専用住宅36.3件、共同住宅44.3件、併用住宅0.7件）である。また、住宅火災は第6-4図のとおり建物火災全体の53.1%を占めている。

第6-5表 住宅火災の発生状況

年	件数	建物火災件数 (件)	住宅火災件数 (件)		
			専用住宅	共同住宅	併用住宅
令和3年	143	82 ( 57.3% )	40 ( 48.8% )	42 ( 51.2% )	0 ( 0.0% )
令和4年	162	85 ( 52.5% )	31 ( 36.5% )	52 ( 61.2% )	2 ( 2.4% )
令和5年	145	77 ( 53.1% )	38 ( 49.4% )	39 ( 50.6% )	0 ( 0.0% )

注 1 住宅火災件数欄の（ ）内は、建物火災件数との割合である。  
2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災件数との割合である。

第6-4図 住宅火災の発生状況



### (4) 損害額の状況

住宅火災の損害額は第6-6表のとおりで、建物火災損害額の52.9%を占めている。過去3年間の平均は185,890千円（専用住宅122,307千円、共同住宅62,582千円、併用住宅1,002千円）である。

第6-6表 住宅火災の損害額状況

年	件数	建物火災損害額 (千円)	住宅火災損害額 (千円)		
			専用住宅	共同住宅	併用住宅
令和3年	368,149	125,683 ( 34.1% )	98,709 ( 78.5% )	26,974 ( 21.5% )	0 ( 0.0% )
令和4年	393,184	253,710 ( 64.5% )	164,434 ( 64.8% )	86,271 ( 34.0% )	3,005 ( 1.2% )
令和5年	336,793	178,277 ( 52.9% )	103,777 ( 58.2% )	74,500 ( 41.8% )	0 ( 0.0% )

注 1 住宅火災損害額欄の（ ）内は、建物火災損害額との割合である。  
2 専用住宅欄・共同住宅欄・併用住宅欄の（ ）内は、住宅火災損害額との割合である。

(ウ) 出火原因及び発火源・経過

住宅火災の出火原因と主な発火源・経過は第6-7表のとおりで、出火原因はたばこが最も多く17件で、住宅火災全体の22.1%を占めている。

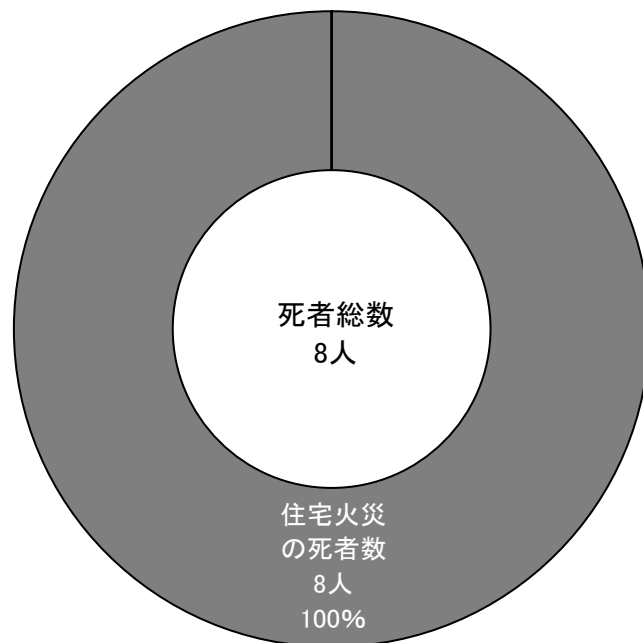
第6-7表 住宅火災の出火原因及び発火源・経過

原因	経 過	令和3年	令和4年	令和5年
こ ん ろ	放置する、忘れる	5	7	2
	可燃物が動いて火源に触れる	5	4	3
	過熱する	2		2
	可燃物が火源の上に転倒落下する		1	
	考え違いにより使用を誤る	1	2	
	本来の用途以外の不適の用に用いる		1	2
	その他	3	4	5
	計	16	19	14
た ば こ	不適當なところに捨て置く	4	6	9
	火源が転倒落下する	2	4	5
	火源が動いて接触する		2	2
	容器から火種がこぼれる	1		
	残り火の処置が不十分	2		
	その他	1	2	1
	計	10	14	17
ス ト ー ブ	可燃物が動いて火源に触れる		4	4
	高温物が触れる		1	
	可燃物が火源の上に転倒落下する			
	考え違いにより使用を誤る			1
	その他	2		1
	計	2	5	6
配 線 関 係	絶縁劣化による発熱			1
	半断線により発熱			
	金属の接触部が過熱する	3	3	
	電線が短絡する	3	5	5
	スパークする	4	1	1
	その他	3		2
	計	13	9	9
そ の 他		31	34	23
放火 (疑い含む)		10	4	8
合 計		82	85	77

(I) 死者発生状況

火災による死者のうち、住宅火災による死者数は第6-5図のとおりで、死者全体の100%を占めている。

第6-5図 住宅火災の死者発生状況



a 年齢別死者発生状況

年齢別による死者は第6-8表のとおりで、高齢者（65歳以上）の死者が4人（50%）である。

第6-8表 住宅火災の年齢別死者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	不明	計	全死者数
令和3年				1	5		6	6
令和4年				3	4		7	7
令和5年				4	4		8	8

b 死亡に至った経過状況

死亡に至った経過状況は第6-9表のとおりである。

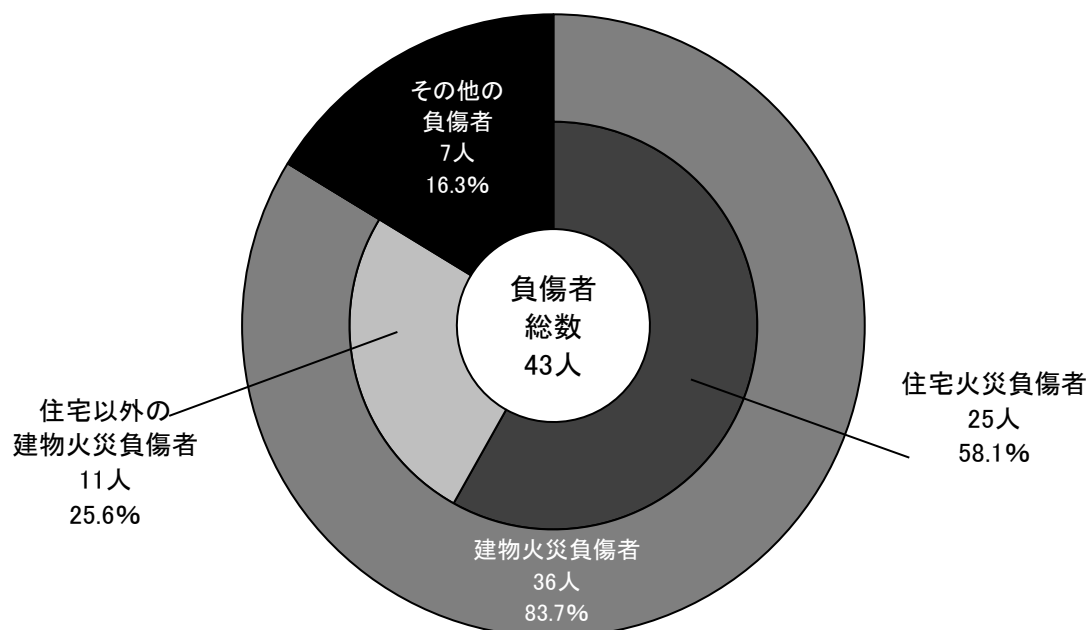
第6-9表 住宅火災の死者発生経過状況

	熟睡	泥酔	逃げ遅れ	身体不自由	着衣着火	放火	その他	計	全死者数
令和3年	1			1	2		2	6	6
令和4年			1	1	1		4	7	7
令和5年	1	1	1	2		2	1	8	8

(オ) 負傷者発生状況

火災による負傷者のうち、住宅火災による負傷者は第6-6図のとおりで、負傷者全体の58.1%を占めている。

第6-6図 住宅火災の負傷者発生状況



a 年齢別負傷者発生状況

年齢別による負傷者は第6-10表のとおりで、高齢者（65歳以上）が9人（36.0%）である。

第6-10表 住宅火災の年齢別負傷者発生状況

	0歳～5歳	6歳～10歳	11歳～20歳	21歳～64歳	65歳～	計	全負傷者数
令和3年		1	2	11	10	24	36
令和4年	1	1		15	12	29	45
令和5年	1		1	14	9	25	43

b 負傷に至った経過状況

負傷に至った経過状況は第6-11表のとおりで、「煙を吸う」が最も多く18人（72.0%）となっている。

第6-11表 住宅火災の負傷に至った経過状況

	令和3年	令和4年	令和5年
火災にあおられる	13	13	5
煙を吸う	7	9	18
放射熱	2	3	1
飛散物			
転落負傷			
その他	2	4	1
計	24	29	25
全負傷者数	36	45	43

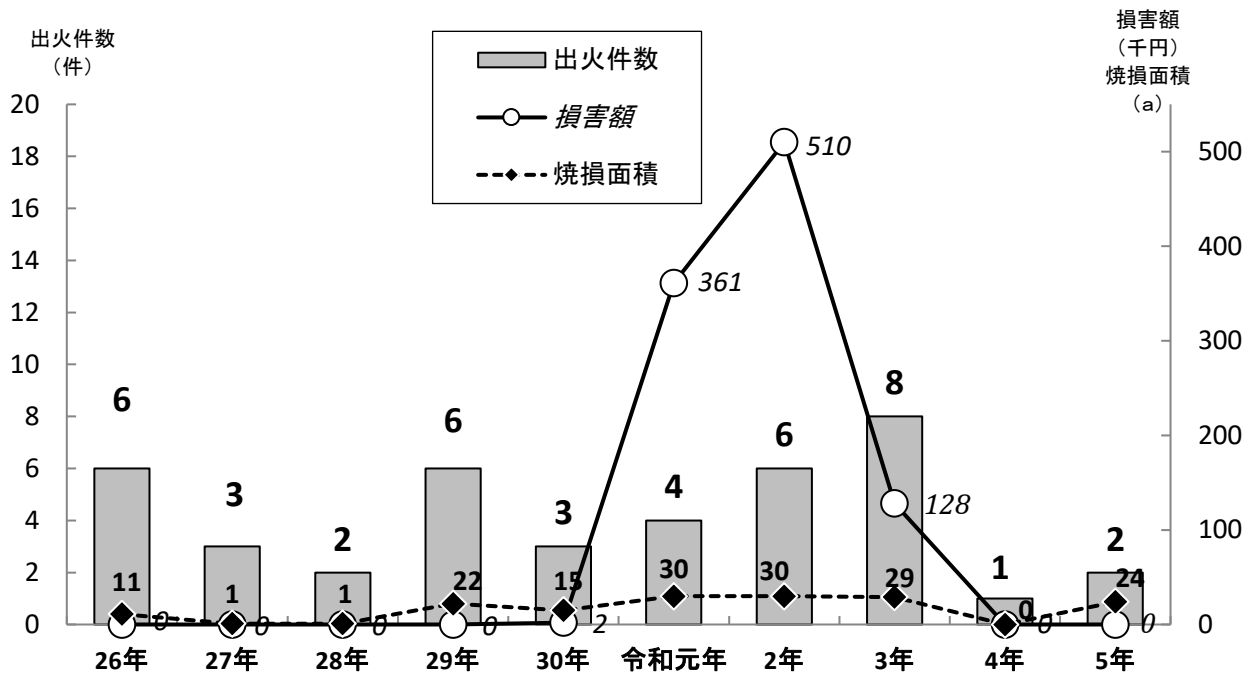
## (2) 林野火災

### ア 発生状況

林野火災は2件で、前年に比べると1件増加している。

過去10年間の推移は第6-7図のとおりで、平均は出火件数4.1件、損害額100.1千円、焼損面積16.3aである。

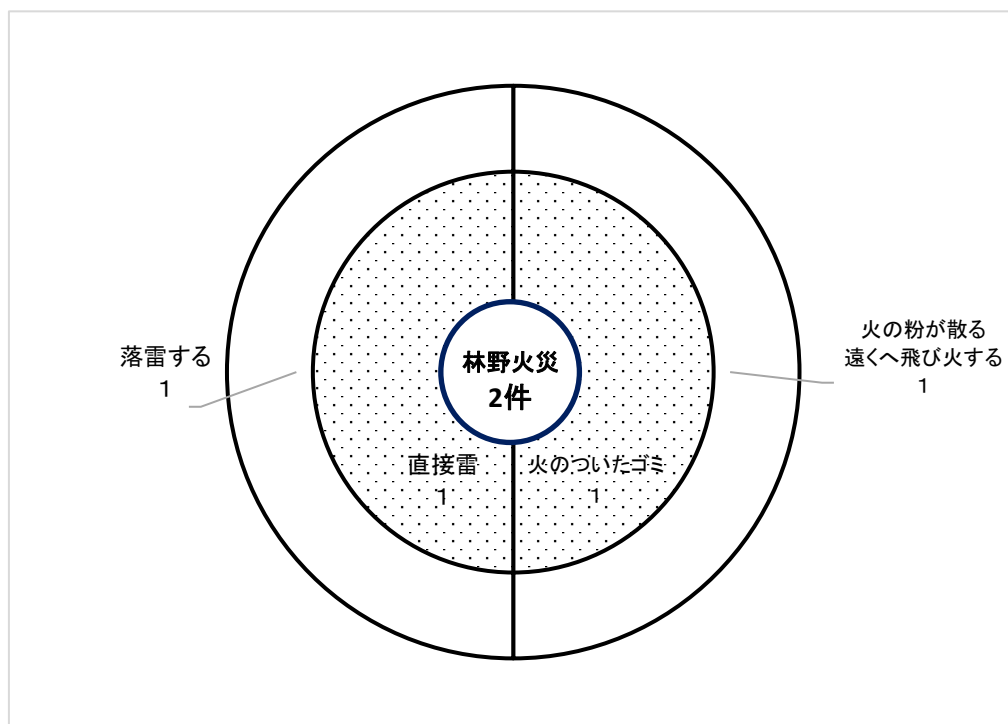
第6-7図 林野火災の推移（過去10年間）



### イ 出火原因及び発火源・経過

林野火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-8図のとおりである。

第6-8図 林野火災の出火原因及び発火源・経過



### ウ 出火箇所の状況

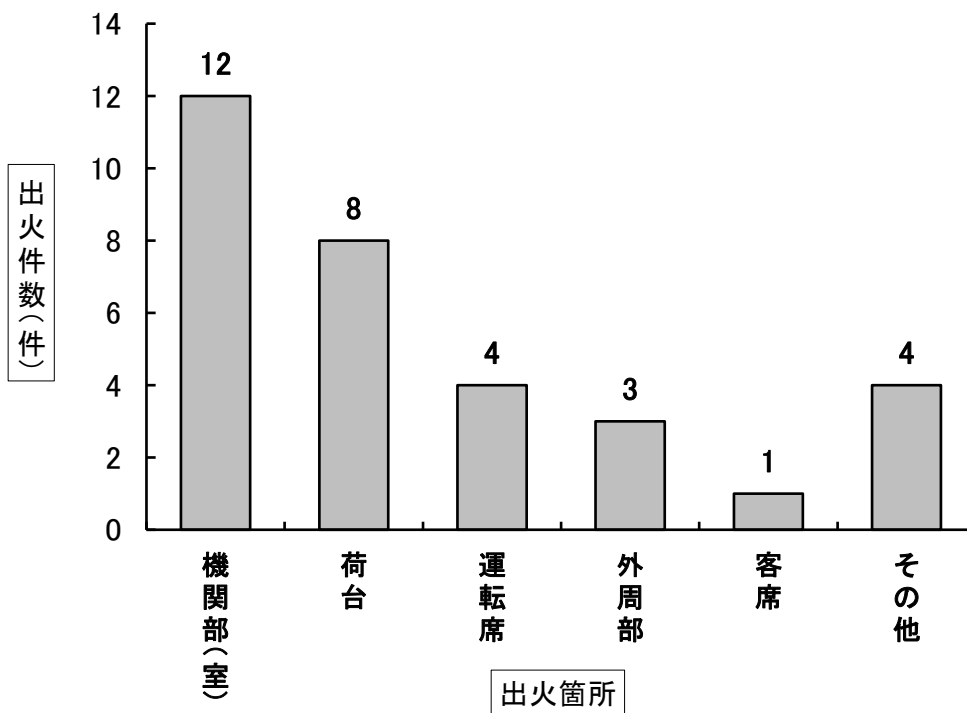
林野火災の出火箇所は、天然林1件、空地1件となっている。



### ウ 出火箇所の状況

車両火災の出火箇所は第6-11図のとおりで、機関部（室）が12件（37.5%）で最も多くなっている。

第6-11図 車両火災の出火箇所の状況

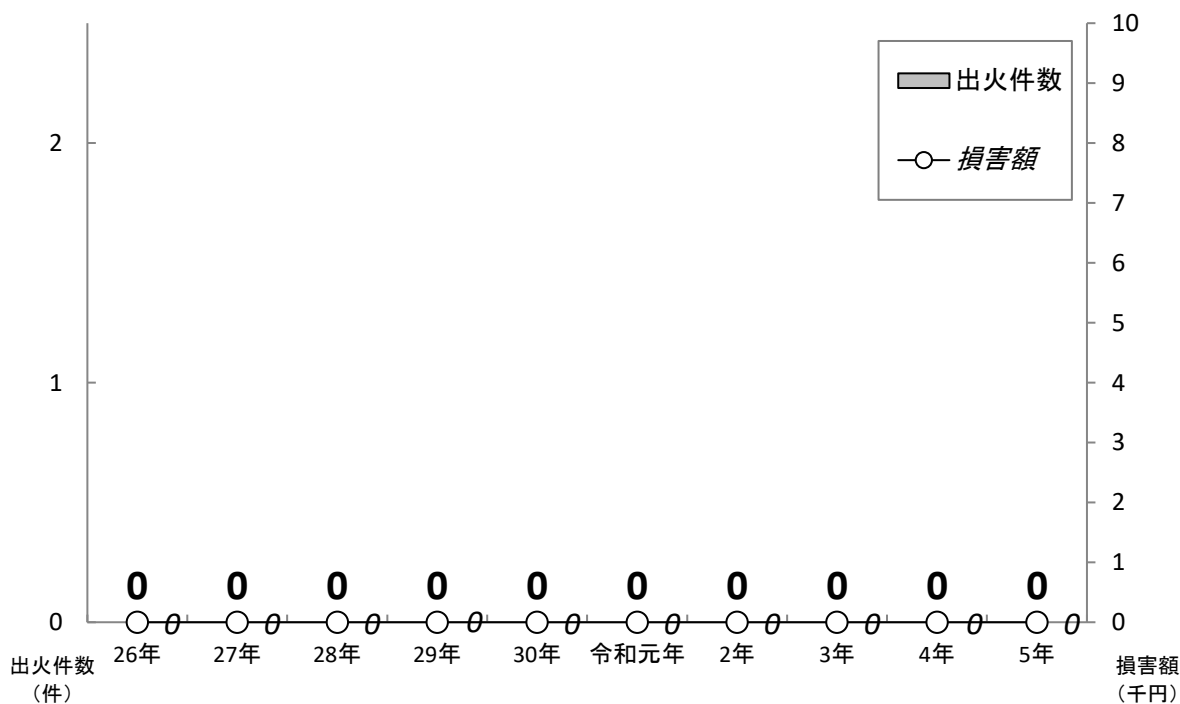


### (4) 船舶火災

船舶火災は発生していない。

過去10年間の推移は第6-12図のとおりで、過去10年間船舶火災は発生していない。

第6-12図 船舶火災の推移（過去10年間）

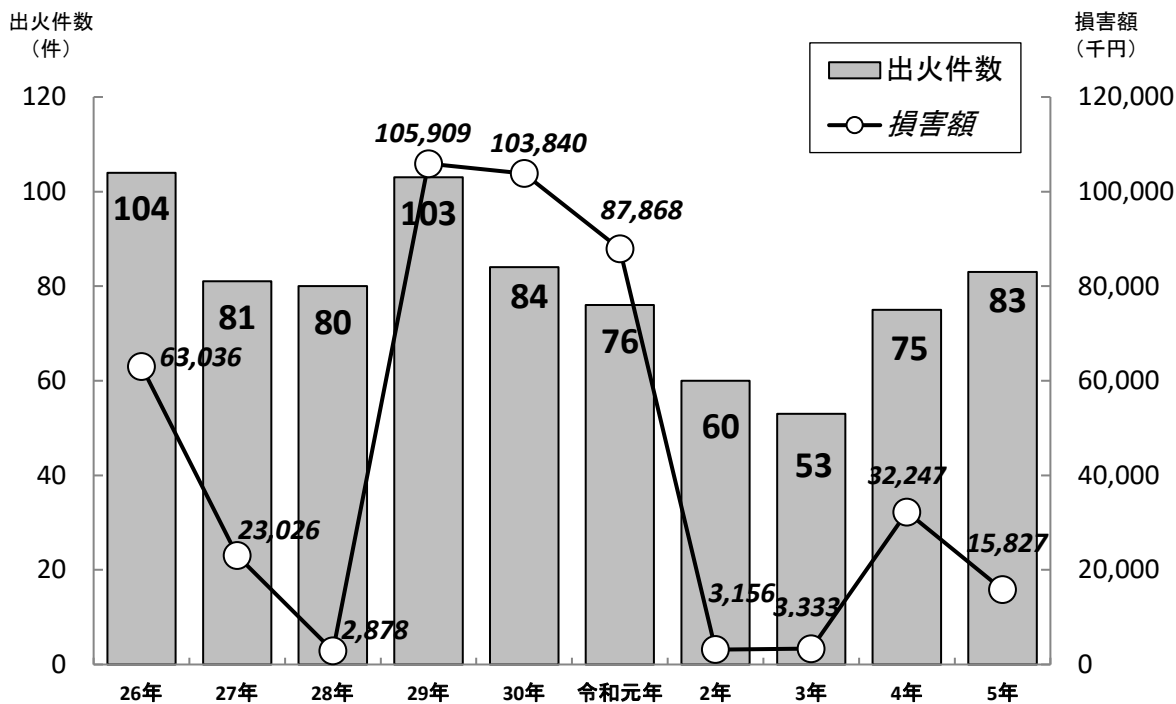


## (5) その他の火災

### ア 発生状況

その他の火災は83件で、前年に比べると8件増加している。  
過去10年間の推移は第6-13図のとおりで、平均は出火件数79.9件、損害額44,112千円である。

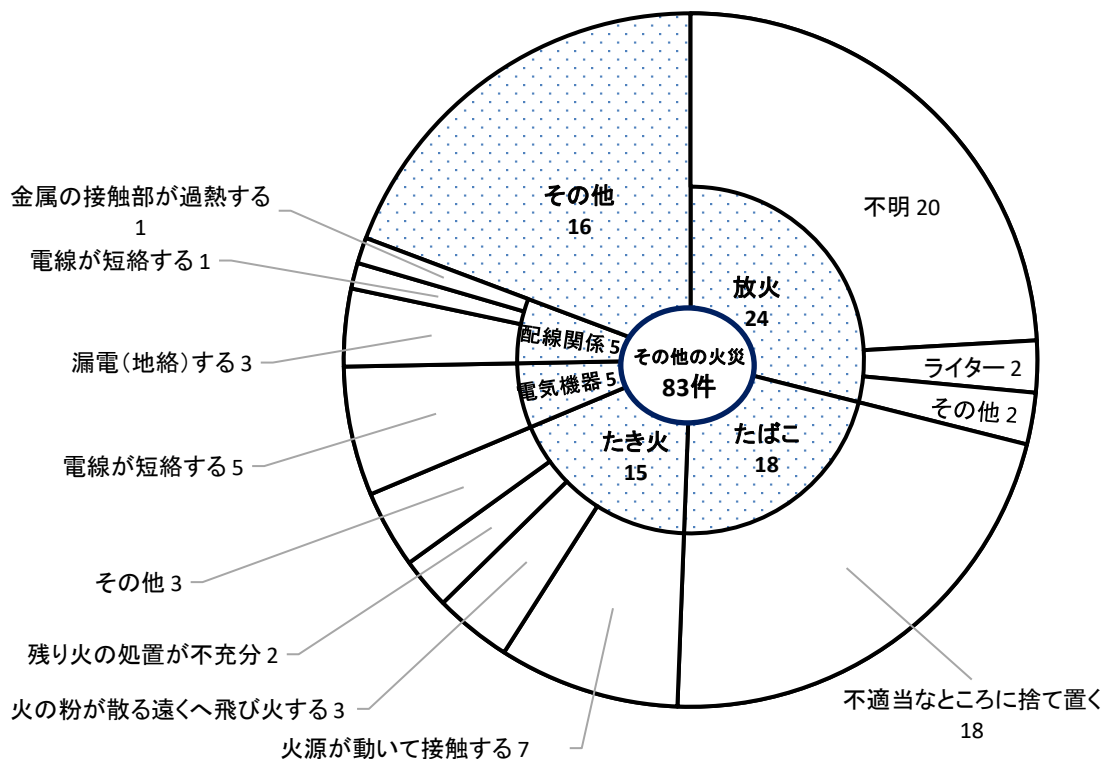
第6-13図 その他の火災の推移（過去10年間）



### イ 出火原因及び発火源・経過

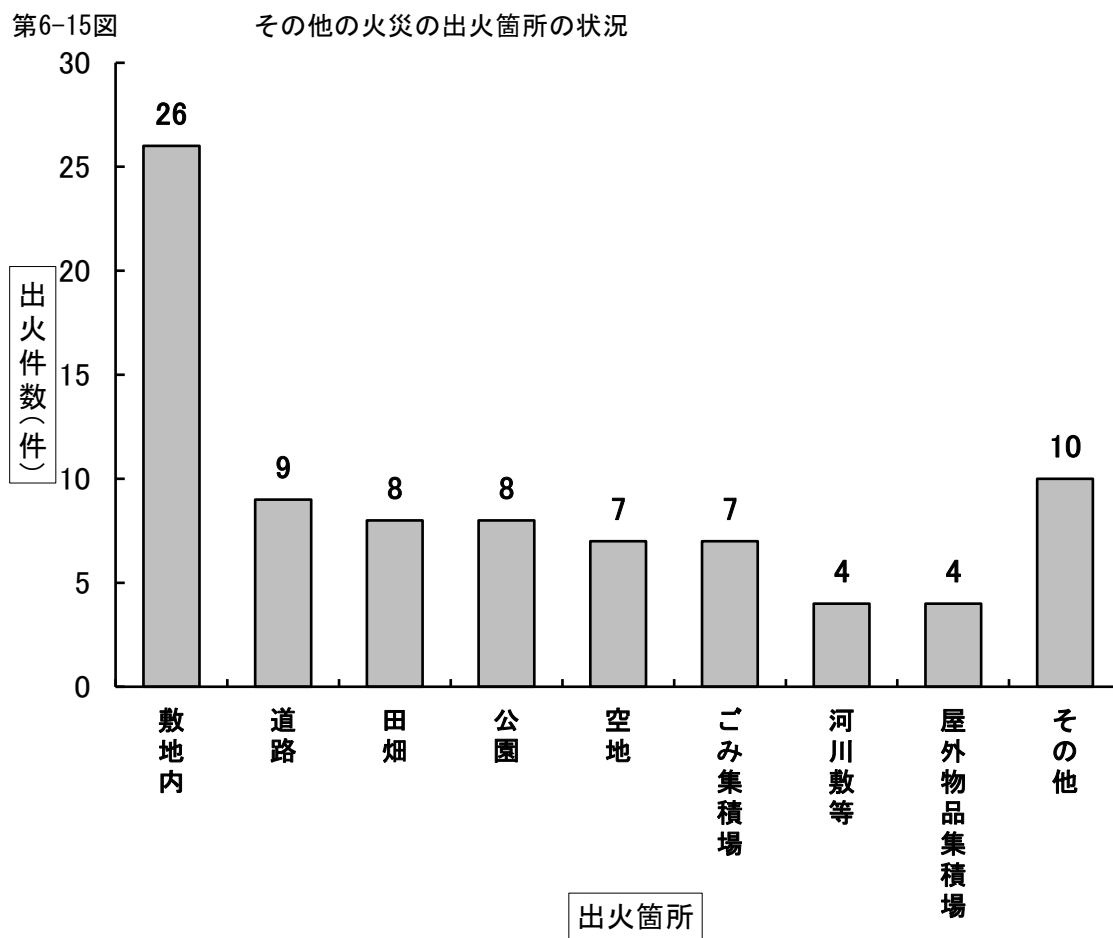
その他の火災の出火原因及び主な発火源・経過は第6-14図のとおりで、放火（疑い含む）が24件（28.9%）と最も多くなっている。

第6-14図 その他の火災の出火原因及び発火源・経過



### ウ 出火箇所の状況

その他の火災の出火箇所は第6-15図のとおりで、敷地内が26件（31.3%）で最も多く、次いで道路が9件（10.8%）となっている。



### 7(1) 署所別火災発生状況

種別	火災件数														焼損棟数				り災世帯			死傷者		焼損面積			損害額 (千円)																					
	建物							建物以外							計	全	半	小	災	死	負	建物		林	合	建物			林	車	船	航	そ	爆														
	計	全	半	部	ぼ	延	計	林	車	船	航	そ	計	全								半	小			災	死	負							床	表	野	計	小	建	収	野	両	船	機	の	他	発
署別	計	焼	焼	焼	や	焼	野	両	船	機	他	計	焼	焼	焼	や	計	損	損	損	員	者	者	(㎡)	(㎡)	(a)	計	計	物	物	野	両	船	機	の	他	発											
累計	262	145	17	4	42	81	1	117	2	32		83	190	35	4	56	95	106	22	10	74	228	8	43	3,116	546	24	437,350	333,715	288,906	44,809		84,417			18,154	1,064											
中央署	計	72	47	2	13	32		25		7		18	48	2	13	33	26	10	2	14	47	2	9	679	155		76,096	75,230	71,792	3,438		659			207													
	本署	37	28	1	7	20		9		2		7	29	1	7	21	19	8	2	9	31	1	8	385	5		69,577	69,307	67,003	2,304		243			27													
	蘇我	13	10		3	7		3		1		2	10		3	7	2	1		1	5		1	19	128		1,028	948	302	646					80													
	宮崎	7	3			3		4		1		3	3			3	2			2	6				4		252	182	181	1		70																
	生浜	11	5	1		2	2		6		1		5	5	1	2	2	2	1		1	2	1		270	18		3,967	3,767	3,701	66		100			100												
	臨港	4	1			1		3		2		1	1			1		1			1	3			5			1,272	1,026	605	421		246															
花見川署	計	42	26	6	2	8	9	1	16		5		11	41	8	2	16	15	27	5	5	17	71	2	8	800	242	24	155,211	76,052	71,898	4,154		76,203			1,892	1,064										
	本署	14	10	2	1	2	5		4			4	11	3	1	2	5	3		2	1	6		3	113	81	24	9,112	9,108	7,776	1,332					4												
	幕張	11	3	1		1	1	8		3		5	5	1		4	4	1		3	12		3	135			86,261	9,672	8,761	911		74,525			1,000	1,064												
	畑	8	6	2		2	2		2		1		1	15	3		9	3	11	2		9	24	1		305	108		22,114	19,578	19,440	138		1,651			885											
	作新台	9	7	1	1	4	1	2		1		1	10	1	1	5	3	9	2	3	4	29	1	2	247	53		37,724	37,694	35,921	1,773		27			3												
	稲計	30	20		2	9	9		10		4		6	20		2	9	9	12	2	3	7	17		5	231	33		88,565	85,092	79,797	5,295		3,471			2											
毛西署	本署	22	13		1	8	4		9		4		5	13		1	8	4	8	2	1	5	11		5	171	16		83,835	80,362	76,149	4,213		3,471			2											
	西千葉	8	7		1	1	5		1			1	7		1	1	5	4		2	2	6			60	17		4,730	4,730	3,648	1,082																	
	計	60	29	7		8	14		31	2	5		24	52	23		10	19	27	4		23	61	2	13	1,068	50		83,605	65,583	40,760	24,823		2,012			16,010											
若葉署	本署	16	9		5	4		7				7	9		5	4	12	1		11	27	1	2	70	29		13,375	1,348	516	832					12,027													
	桜木	8	5	1		1	3		3		1		2	8	1	2	5	5	1		4	9		2	57			4,022	3,996	3,973	23					26												
	大宮	4	3	2		1		1				1	6	3		2	1	3	2		1	5	1	1	131	17		9,043	6,843	6,243	600		100			2,100												
	都賀	9	6	1		5		3		1		2	8	1		7	4			4	13		4	82	1		2,430	64		64		622			1,744													
	泉	15	4	3		1		11	2	2		7	19	18		1	1			1	3		4	728	2		54,718	53,315	30,023	23,292		1,290			113													
	殿台	8	2			2		6		1		5	2			2	2				2	4				1		17	17	5	12																	
緑署	計	24	7	2	3	2		17		4		13	13	2	7	4	11	1		10	28	2	3	338	61		25,277	24,014	22,815	1,199		1,225			38													
	本署	16	5	1	3	1		11		3		8	6	1	4	1	4			4	12	1	2	234	11		14,247	13,215	12,483	732		1,027			5													
	誉田	2						2		1		1															214					198			16													
	土気	3	1			1		2				2	1			1	1			1	5				1		25	23	23					2														
	越智	2						2				2															3							3														
	あすみが丘	1	1	1									6	1		3	2	6	1		5	11	1		104	49		10,788	10,776	10,309	467				12													
美浜署	計	34	16		1	15		18		7		11	16		1	15	3			3	4		5		5			8,596	7,744	1,844	5,900		847			5												
	本署	7	2			2		5		1		4	2			2	1			1	1		1				30					30																
	高浜	12	7		1	6		5		3		2	7		1	6	2			2	3		1			4		2,039	1,884	1,842	42		155															
打瀬	15	7			7		8		3		5	7			7							3			1		6,527	5,860	2	5,858		662			5													





7(4) 火災の推移状況

(昭和24年～令和5年)

年別	出火件数(件)										人口(万人)					出火率	損害状況				
	600	500	400	300	200	100	0	0	20	40	60	80	100	120	焼損棟数(棟)		焼損床面積(m <sup>2</sup> )	損害額(円)	死者(人)	負傷者(人)	
昭和 24															52	3,488	26,745,312	1	0		
25															36	1,182	4,493,000	1	0		
26															57	3,405	244,772,000	0	3		
27															40	1,739	1,230,000	0	4		
28															36	779	2,291,000	0	5		
29															60	2,485	2,383,000	0	8		
30															61	2,991	14,558,000	1	8		
31															99	2,325	29,585,000	0	5		
32															100	2,569	48,310,000	2	15		
33															77	3,626	37,339,000	2	4		
34															79	2,954	40,287,000	1	11		
35															82	3,430	38,322,000	2	7		
36															50	7,641	13,812,000	4	9		
37															126	3,364	48,896,000	0	11		
38															129	8,823	122,604,000	2	21		
39															125	3,822	88,602,000	2	20		
40															128	4,652	97,331,000	4	26		
41															160	5,153	52,989,000	1	11		
42															200	6,370	79,974,000	1	27		
43															238	7,137	83,799,000	10	36		
44															210	5,151	166,799,000	5	24		
45															240	10,719	296,562,000	18	30		
46															276	15,420	1,753,563,000	5	102		
47															295	19,728	350,042,000	8	72		
48															332	8,942	415,958,000	12	49		
49															261	6,138	461,582,000	5	47		
50															242	6,060	763,049,000	10	45		
51															290	6,235	313,163,000	5	32		
52															253	6,120	460,435,000	12	37		
53															297	10,051	708,552,000	12	44		
54															320	9,217	1,117,560,000	21	45		
55															378	5,528	565,104,000	9	35		
56															292	5,422	422,409,000	5	28		
57															242	5,480	474,121,000	6	45		
58															221	5,273	653,827,000	8	30		
59															298	6,259	795,286,000	5	37		
60															293	5,932	584,805,000	6	48		
61															243	5,453	626,188,000	7	34		
62															231	3,715	450,175,000	7	34		
63															308	6,130	887,597,000	13	37		
平成 元															254	4,270	479,883,000	9	34		
2															264	4,144	497,788,000	6	37		
3															273	6,030	1,125,923,000	2	42		
4															285	4,951	650,045,000	11	37		
5															263	5,502	673,725,000	14	67		
6															329	7,802	852,364,000	13	44		
7															300	6,916	685,969,000	14	55		
8															268	6,974	813,388,000	7	50		
9															296	5,839	670,226,000	14	51		
10															274	5,092	464,328,000	15	51		
11															274	6,585	1,010,566,000	12	64		
12															226	4,692	552,004,000	14	50		
13															294	7,028	712,681,000	15	64		
14															265	4,654	584,758,000	12	63		
15															292	6,400	630,600,000	12	78		
16															307	7,368	684,865,000	15	62		
17															229	4,147	474,082,000	14	80		
18															223	4,015	496,228,000	6	68		
19															259	3,394	286,577,000	9	50		
20															228	5,348	381,556,000	2	71		
21															216	5,575	684,774,000	6	57		
22															224	5,468	418,089,000	12	38		
23															187	5,414	446,250,000	12	39		
24															197	3,694	401,041,000	13	40		
25															220	4,059	510,491,000	13	55		
26															206	3,156	381,765,000	5	78		
27															211	3,314	349,203,000	8	44		
28															182	1,857	225,781,000	7	39		
29															166	3,036	339,945,000	11	33		
30															164	2,237	363,240,000	2	48		
令和 元															219	4,005	363,247,000	9	20		
2															152	2,115	282,114,000	7	30		
3															177	2,606	376,634,000	6	36		
4															222	3,832	429,179,000	7	45		
5															190	3,116	437,350,000	8	43		

# 火災統計

令和6年9月発行  
編集発行 千葉市消防局予防部予防課  
千葉市中央区長州1-2-1  
電話 043-202-1663 FAX 043-202-1669  
E-Mail yobo.FPP@city.chiba.lg.jp